

報道関係者各位

ダム内部における酒類の貯蔵実験を始めます ～インフラ施設を活用した地域活性化への取り組み～

ダムを活用した地域活性化の一環として、酒造組合及びワイナリー等との連携により、山形県が管理するダムにおける酒類の貯蔵実験の取り組みを始めます。

ダム堤体内は年間を通し一定温度(約10℃)であり空調設備不要で熟成が期待できることから、今後、貯蔵した酒類の品質の検証を行いながら、イベントや県内外での頒布等を通して、ダムや酒・食材等のPR等への活用を図り、地域の特徴あるものづくりや地域活性化への支援を進めてまいります。

今般、貯蔵実験の開始にあたり、覚書の締結式及び酒類の搬入を行いますので、当日の取材についてよろしくお願いたします。



1. 貯蔵実験の目的

- ・既存ストックを有効活用するとともに、ダムへの関心や知名度を高めダムの魅力向上を図る。
- ・酒造会社が貯蔵に要するエネルギーを低減し、脱炭素社会づくりに貢献する。
- ・新たな付加価値の創出による競争力強化、差別化・ブランド化による消費拡大を図る。

2. 貯蔵実験の流れ

- ・酒類等の貯蔵場所として、ダム施設内部の一部を占用許可 [県]
- ・ダムの試行的利活用に関する覚書の締結及び酒類の搬入 [事業者・県] ←今回実施
- ・ダム内部にて酒類の貯蔵・熟成実験を行い、有効性を検証 [事業者・県]
- ・検証の結果品質に問題ない場合に、パッケージにダムの貯蔵酒であることを明示のうえ、貯蔵酒を販売、頒布等 [事業者]
- ・ダムのPR及び地域の特徴あるものづくりや地域活性化につなげる [事業者・県]

3. 覚書締結式及び搬入式の開催 ※詳細は別紙を参照ください。

(1) 蔵王ダム【覚書締結式及び日本酒の搬入】

- ・日 時：9月17日(火) 13:30から
- ・場 所：蔵王ダム(山形市上宝沢地内)
- ・事業者：山形県酒造組合、県内7つの酒造会社
- ・内 容：県と酒造組合による覚書の締結式を行い、その後ダム内部へ日本酒を搬入します。

(2) 前川ダム【ワインの搬入】

- ・日 時：9月20日(金) 10:00から
 - ・場 所：前川ダム(上山市川口地内)
 - ・事業者：(株)ベルウッドヴィンヤード
 - ・内 容：ワインのダムへの搬入作業を行います。
- なお、締結式等の式典は行いません。

【問合せ先】

村山総合支庁建設部 山形統合ダム管理課
課長補佐 渋江 TEL 023-631-3526
報道監
村山総合支庁総務企画部長 工藤 明子

蔵王ダム 覚書締結式及び日本酒搬入

日時 令和6年9月17日(火) 13:30~

位置図 ・山形蔵王ICから約9km、約15分



- ・県道から左方向にゲートを通り、ダム下部へお越しください。
- ・ダム管理所からは会場にアクセスできません。



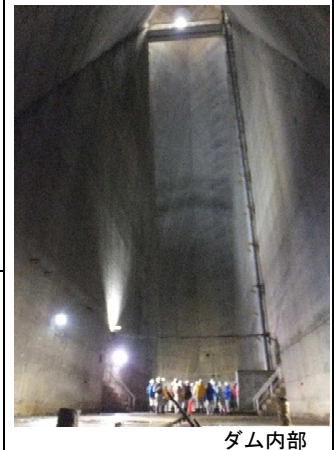
※国土地理院地図に情報を追記して作成

スケジュール

- 13:30~ 覚書締結式
- ・覚書の締結
(村山総合支庁建設部長と県酒造組合長)
 - ・記念撮影
- 14:00頃~ ダム堤体内部へ日本酒(約3,900本)の搬入作業

**参加事業者
(順不同、敬称略)**

- ・山形県酒造組合
- ・月山酒造株式会社
- ・株式会社六歌仙
- ・東の麓酒造有限会社
- ・出羽桜酒造株式会社
- ・和田酒造合資会社
- ・株式会社鈴木酒造店長井蔵
- ・米鶴酒造株式会社



ダム内部

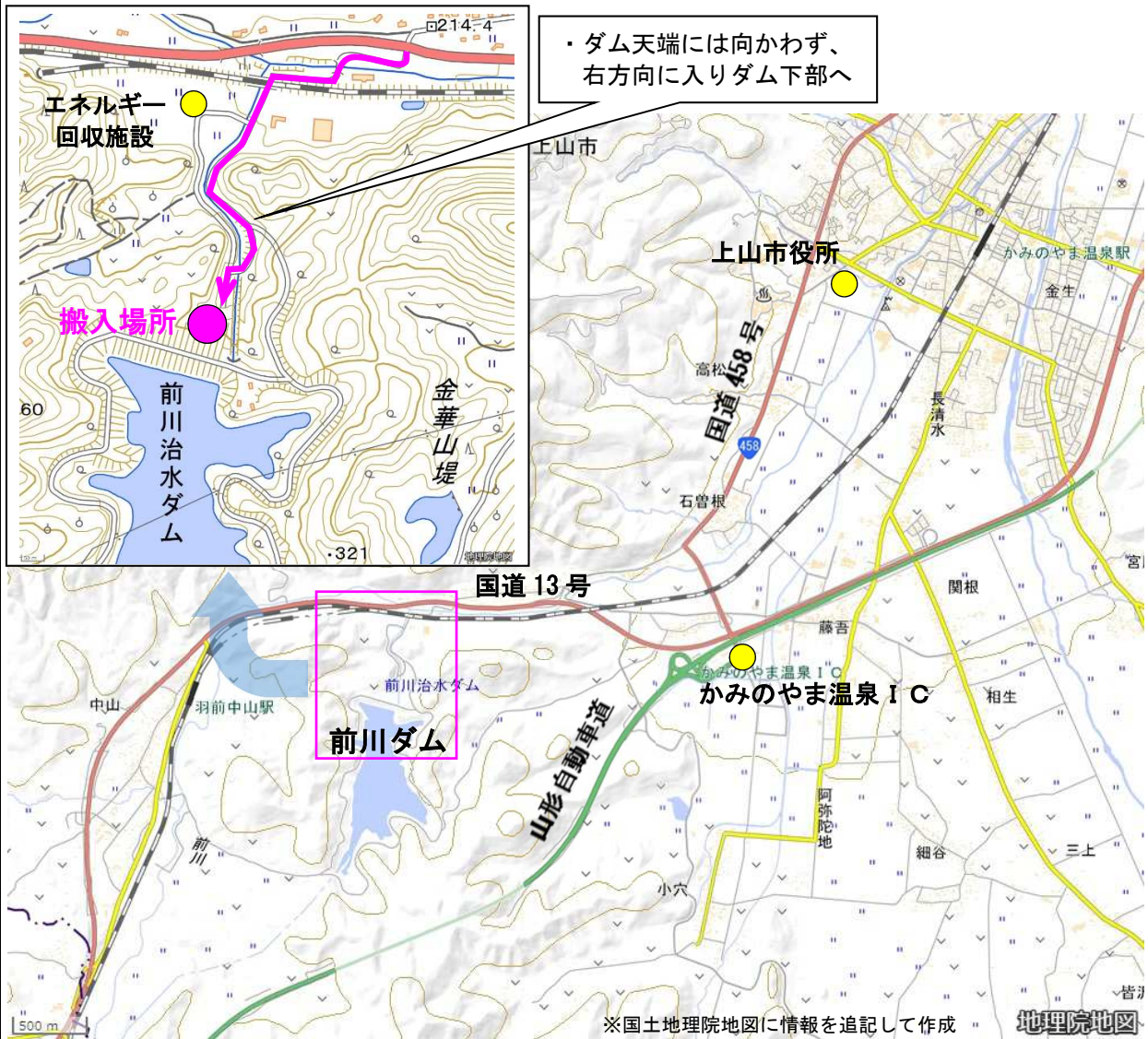
留意点等

- ・蔵王ダムは全国的にも珍しい堤体内に空洞があるダムです。今回、この空洞の一角を利用して締結式を行います。スペースに余裕がなくご不便をおかけしますが、ご了承願います。なお、堤体内は約10℃と肌寒いのでご注意ください。
- ・駐車スペースも余裕がないため、酒類搬入のための車両を優先させていただきます。係員の指示に従っていただくようお願いいたします。

前川ダム ワイン搬入

日時 令和6年9月20日(金) 10:00~

位置図 ・かみのやま温泉 I Cから約3km、約5分



スケジュール

- ・ 10:00 からダム堤体内部へワイン約 4,800 本の搬入を開始します。
- ・ 式典等はいりませんので、搬入作業を自由に取材いただけます。

参加事業者
(順不同、敬称略)

- ・ 株式会社ベルウッドヴィンヤード

留意点等

- ・ 搬入作業の駐車スペースは余裕がないため、係員の指示に従っていただくようお願いします。
- ・ ダム堤体内部の搬入場所も狭いため、一度に入ることができる人数が限られますのでご了承ください。



ダム内部